

全国高等学校女子硬式野球選手権大会 組み合わせ抽選会を実施

6月14日、ライフピアいちじまで、第23回全国高等学校女子硬式野球選手権大会の対戦相手を決める抽選会が行われました。今年は全国から過去最多の32チームが丹波市に集い、7月26日（金）～8月2日（金）まで真夏の熱戦が繰り広げられます。

開会式の選手宣誓には、抽選で京都両洋高等学校が選出され、各チームの主将らは開幕に向けて決意を新たにしました。



選手宣誓に選ばれた京都両洋高等学校の生徒（写真左から3人目）

大河ドラマで市の観光を盛り上げよう！ ラッピング自動販売機を設置

2020年放映のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」を契機に市の観光を盛り上げようと、（一社）丹波市観光協会は、明智光秀や丹波の赤鬼・赤井（荻野）直正のイラストが描かれたラッピング自動販売機を企画し、市内6箇所に設置しました。

イラストは、直正と光秀が対峙した黒井城での戦いがモチーフになっており、光秀ゆかりの地のPRのため、今後も設置台数を増やす予定です。



道の駅丹波おばあちゃんの里に設置されたラッピング自動販売機を利用する子どもたち

祝！氷上高校女子バレーボール部 全国大会（インターハイ）出場



女子バレーボール部の川釣奈津さん（写真左から2人目）、佐藤榛花さん

7月2日、氷上高校女子バレーボール部が全国高等学校総合体育大会（インターハイ）出場を報告するため、谷口市長を訪問しました。県大会では1セットも落とさず優勝した氷上高校は、4年連続39回目のインターハイ出場です。

主将の佐藤榛花さんは、「センターの高さを生かして試合を組み立て、練習の成果を出せるよう集中して日本一を目指します」と話しました。

海外の観光客をおもてなし 市内観光ツアーを実施



ガイドに教わりながら手を清める観光客（写真右）

6月22日、シティプロモーションの取り組みとして、柏原中心市街地などで外国人観光客向けのツアー「柏原まちなみウォーキング」が行われました。

柏原八幡宮や木の根橋などをめぐり、ボランティアガイドによる英語の説明を聞いた8人の参加者は、「柏原八幡宮で神職様が神社のことを説明してくれたのが良かった」と話しました。

復興のむらづくりを学ぼう

住民と大学生が里山林を整備

6月16日、丹波市豪雨災害で被災した下鴨阪地区で、兵庫県立大学の学生と住民ら約40人が山裾の放棄地を整備しました。竹や雑草を刈ることで民家と里山の間に余裕域（バッファゾーン）を作り、土石流被害を最小限に抑えることが目的です。

参加した学生は、「高齢化が進む中、今後の整備をどうするかが課題だと感じた」と話しました。



山裾の竹を切って搬出する学生たち

第29回 日米草の根交流サミット

アメリカから6人が来丹

6月27日、日本とアメリカの市民が相互理解と親交を深めることを目的に、アメリカから6人の市民が来丹しました。6月29日まで3日間、ホームステイをしながら、酒蔵見学や化石発掘体験など市の文化や自然に触れる体験をしました。

27日に行われた歓迎式典では、6人の参加者がそれぞれ自己紹介し、「恐竜の化石発掘体験が楽しみ」などと滞在への期待を寄せました。



参加者、ホストファミリーとの記念撮影

丹波市住まいるバンク

成約100件を達成！



100件目の成約者 荒上さん夫妻（写真左・中央）

市内の空き家と利用希望者をマッチングし、地域との橋渡しも行う「住まいるバンク」の成約件数が、平成27年11月の開始から今年4月で100件に到達しました。

100件目の成約者になった山口県出身の荒上さん夫妻は「移住して、地域の人の温かさを感じている。購入した氷上町成松の古民家を改装し、10月からレストランを開業する予定」と語りました。

丹波市立農（みのり）の学校

活動状況を報告



収穫した野菜を市長に手渡す受講生のみなさん

6月19日、農の学校の受講生が活動の状況を報告するため、収穫した野菜を持参して谷口市長を訪問しました。農の学校1期生15人が栽培した野菜は、市内直売所などで販売中です。

受講生は、「覚えることが多く、独り立ちへのプレッシャーを感じている」と話し、市長は「全国から注目される取り組み。しっかりバックアップしたい」と農業者の卵にエールを送りました。